

運用報告書

イーストスプリング・インド消費関連ファンド

追加型投信／海外／株式

第7期

第7期（決算日 2012年2月20日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」は、2012年2月20日に第7期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年（2008年5月30日から2018年2月20日まで）
投資方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場する消費関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な投資対象	モーリシャス籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券および国内籍証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
配分方針	毎決算時（毎年2月20日および8月20日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspringinvestments.co.jp/>

PCAアセット・マネジメント株式会社は、2012年2月14日付けで商号を「イーストスプリング・インベストメンツ株式会社」に変更いたしました。これに伴い、ファンドの名称を「PCAインド消費関連ファンド」から「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」に変更いたしました。

【お問合せ窓口】

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
マーケティング部

電話番号 03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

PCAアセット・マネジメント株式会社は、2012年2月14日付けで商号を「イーストスプリング・インベストメンツ株式会社」に変更いたしました。これに伴い、当ファンドおよび投資対象ファンドの名称を以下の通り変更いたしました。なお、同日より前の記載内容につきましては、変更前のファンド名を記載しております。

変更後	変更前
イーストスプリング・インド消費関連ファンド	PCAインド消費関連ファンド
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド	PCAインディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド
イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	PCA国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
3 期 (2010年 2 月22日)	円 10,003	円 450	% 11.3	% 95.9	百万円 11,309
4 期 (2010年 8 月20日)	10,997	500	14.9	95.9	9,804
5 期 (2011年 2 月21日)	10,367	200	△ 3.9	95.3	8,096
6 期 (2011年 8 月22日)	9,762	0	△ 5.8	88.2	6,459
7 期 (2012年 2 月20日)	10,383	0	6.4	95.6	5,902

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投資信託証券 組入比率
(期 首) 2011年 8 月22日	円 9,762	% -	% 88.2
8 月末	9,784	0.2	92.1
9 月末	9,315	△ 4.6	94.6
10 月末	9,787	0.3	91.4
11 月末	8,674	△11.1	92.7
12 月末	8,145	△16.6	93.6
2012年 1 月末	9,140	△ 6.4	93.9
(期 末) 2012年 2 月20日	10,383	6.4	95.6

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

■当期中の運用状況と今後の運用方針（2011年8月23日から2012年2月20日まで）

【基準価額の推移】

前期末時点で9,762円であった基準価額は、当期末時点で10,383円となり、基準価額をもとに算出した当期の騰落率は、+6.4%となりました。なお、当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

当期中、基準価額に影響を与えた主な要因は以下の通りです。

（上昇要因）

- ・グローバルにリスク回避の動きは行き過ぎているとの見方からリスク資産が買戻される中、インド株式市場でも買いが先行し、株価が上昇したこと（2011年10月初旬から下旬）
- ・景気の減速とインフレの落ち着きを受け、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が12月16日に政策金利を据置き、さらに1月24日に預金準備率を引下げたことから金融緩和政策への転換期待が高まり、インド株式市場が堅調となったこと

（下落要因）

- ・米国景気悪化への懸念が市場の重しとなり、また、欧州主要国政府の欧州債務危機への対応に対する不透明感からリスク回避が進み、グローバルにリスク資産の売りが先行し、インド株式市場も弱含んだこと（期初から10月初め）
- ・イタリアやスペインへ債務危機が広がったことなどからグローバルにリスク回避的な動きが再燃し株式市場が軟調となる中、インドではインフレ圧力や景気減速、企業業績の伸び悩みなどへの懸念が強く、調整局面がやや長引いたこと（10月下旬から12月中旬頃）
- ・リスク回避による米ドル買い、円買いの動きが強かったことからインドルピー安円高となったこと（当期中）

【収益分配金】

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準等を勘案して、無分配としました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

【市場概況】

<インド株式市場>

当期初から10月初旬にかけて、米国での景気悪化への懸念や、欧州主要国政府の欧州債務危機に対する対応が不明確で債務危機解決には至らないとの懸念から、グローバルにリスク資産の売りが先行し、インド株式市場も弱含みました。10月初旬から下旬にかけては、グローバルにリスク回避の動きが行き過ぎているとの見方からリスク資産が買戻される中、インド株式市場でも買いが先行し、株価は上昇しました。

しかしながら、10月下旬から12月中旬頃にかけて、欧州各国における国債利回りの上昇、景気後退懸念や政治的混乱などから、債務危機問題がイタリアやスペインへも広がりました。さらに大統領選挙を控えた米国において政治リスクの景気に対する影響が懸念されたことなどから、グローバルにリスク回避的な動きが再燃し、株式市場が軟調となりました。他の株式市場の多くは11月末ごろから持ち直しの兆しを見せましたが、インド



では、インフレ圧力や景気減速、企業業績の伸び悩みなどへの懸念が強く調整局面がやや長引きました。

12月下旬頃から当期末にかけて、EU首脳会議での欧州安定化メカニズム（ESM）の稼働前倒しの決定や欧州中央銀行（ECB）による流動性の供給などにより、欧州債務危機拡大への懸念は若干後退しました。また、米国景気的好調さを示す経済指標の発表が続き、市場を下支えしました。こういった環境下、インドでは景気減速とインフレの落ち着きを受けて、RBIが12月16日に政策金利を据置き、さらに1月24日に預金準備率を引下げたことから金融緩和政策への転換期待が高まり、株価は堅調となりました。

<国内債券市場>

9月は、ギリシャの債務不履行懸念および欧州金融機関の短期資金繰り懸念や経営不安、米連邦公開市場委員会（FOMC）で米国経済の著しい下振れリスクが指摘されたことなどが市場のリスク回避行動を加速させ、国債市場では10年債利回りで1%を割込む水準まで買いが進みました。10月には、一時的に、欧州債務危機に対して包括的な危機対策が取りまとめられるとの期待から株式買い債券売りの流れとなり、10年債利回りは上昇しました。しかし、11月にはギリシャの国民投票実施を巡る混乱やイタリアの政情・債務問題などから10年債利回りが再び1%を割込むなど、外部要因に左右される展開となりました。11月末にかけて高値警戒感や米大手格付け会社が日本国債を格下げする可能性を示唆したことなどから、売りが優勢となり10年債で1.1%近辺まで利回りが上昇しました。しかし、欧州当局の危機封じ込めに対する懐疑的な見方もあり、再び1月中旬にかけて1%割れの水準まで低下しました。期末にかけて景気の先行きに対する見通しが分かれる中、10年債で0.95%から1%程度の狭いレンジでの推移が続きました。

【運用状況】（記載文章はイーストスプリング・インド消費関連ファンドの計算期間に基づいております。）

<イーストスプリング・インド消費関連ファンド>

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッドの組入比率を高位に保つよう運用しました。

<イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド>

当期中、自動車セクター、生活必需品セクターなどのウェイトを増やし、電気通信サービスセクター、銀行・金融セクターなどのウェイトを減らしました。当期末時点では、銀行・金融セクター、非耐久消費財セクター、自動車セクターなどが組入上位となりました。パフォーマンス面では、非耐久消費財セクターの銘柄選択および電気通信サービスセクターのウェイトを減らしたことなどが相対的にプラスに寄与した一方で、自動車セクターでの銘柄選択およびメディアセクターのウェイトを増やしたことなどがパフォーマンスのマイナス要因となりました。

<イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス（1-10年債）^(注)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。国内景気見通しに対する不透明感が高まる中、金利の上値は抑えられ、緩やかな低下基調を辿るとの見通しの下、デュレーションを長めに維持しました。その結果、当期の騰落率は+0.4%となり、ベンチマークの+0.5%をやや下回りました。

【今後の見通しと運用方針】

<イーストスプリング・インド消費関連ファンド>

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッドの組入比率を高位に保つことを基本とします。

<イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド> (投資環境)

運用担当者は、欧州の債務危機などの外的要因がインドの経済にとって引続きリスクであり、不透明な状況が長期化する可能性が高いと考えています。今後、特に3月に、主要な州で行われる地方選挙、連邦政府の政策・方針を判断する上で重要となる新年度の連邦予算案提出などの政治イベントが集中します。中でも政府の財政規律維持への姿勢、財政赤字削減策に注目しています。また、金融政策については3月から7月にかけてRBIが政策金利の引下げを開始すると予想しています。地方選挙終了後に政治の停滞が払しょくされ、政府の政策決定速度が上がれば、2012年下期以降、設備投資等の国内投資の増加が期待されると考えます。また、財政改革などの構造改革の推進がインド経済の中長期的な成長にとって重要になると考えています。運用担当者は、インドの長期的な成長基調は健在であり、長期投資の対象として引続き有望であると考えています。

(投資方針)

インフレ率の上昇傾向や金利の高止まり懸念などを鑑み、銀行・金融セクターおよび自動車セクターについては中立の見通しを維持しています。銀行株については、今後予想される金融緩和により、保有資産の劣化などの懸念が全般に緩和されると予想します。自動車セクターについては、景気の鈍化により2012年は2011年よりも成長が鈍化すると予想しますが、需要を喚起する販売力の強弱により差のつく環境となると予想しています。引続き、インドの消費関連企業の株式を主要投資対象とし、マクロ経済要因および政府方針等の分析も考慮しつつ、企業分析を重視したボトム・アップ・アプローチを基本として、高収益・高成長が続くと見込まれる銘柄を選択してポートフォリオ構築を行い、長期的な成長を目指した運用を行っていく所存です。

<イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)> (投資環境)

グローバルな景気減速が懸念され、国内では大幅な需給ギャップが存在する中、日本銀行が現在の緩和的金融政策から方針を変更する可能性は小さいと考えています。日銀は、2月14日の金融政策決定会合で消費者物価指数の前年比上昇率を1%とすることを目指すなど、金融緩和を強力に推進する方針を決定しました。これは国内の経済成長見通しに対する懸念が増していることに対応した動きと言えます。

(投資方針)

以上のような環境下、国内債券市場の価格変動はやや大きくなると予想しております。今後も、国債を中心とした公共債を主要投資対象とし、ファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、信用リスク、流動性および分散投資に配慮しつつ、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

(注) バンクオブアメリカ・メリルリンチはバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	59円 (24) (34) (1)
(b) 保 管 費 用 等	2
合 計	61

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含みま
す。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、
下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況（2011年8月23日から2012年2月20日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 —	千円 —	千口 9,484	千円 10,000
外国	モ ー リ シ ャ ス イーストスプリング・インベスト メンツ・インディア・コンシューマー・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口 507	千米ドル 8,000	千口 878	千米ドル 12,800

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は四捨五入です。

■ 利害関係人との取引状況等（2011年8月23日から2012年2月20日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	当 期		
	買 付 額	売 付 額	期 末 保 有 額
投 資 証 券	百万円 617	百万円 988	百万円 5,561

(注1) 単位未満は四捨五入です。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(注3) 投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」は、
当社関係法人の会社型外国投資法人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2011年8月23日から2012年2月20日まで）

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引は
ありません。

■組入資産の明細（2012年2月20日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前 期 末	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	千口 87,716	千口 78,231	千円 82,753	% 1.4
合 計	87,716	78,231	82,753	1.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	前 期 末	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(モーリシャス) イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド	千口 4,640	千口 4,269	千米ドル 69,855	千円 5,561,216	% 94.2
合 計	4,640	4,269	69,855	5,561,216	94.2

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

■有価証券の貸付および借入の状況

該当事項はありません。

■投資信託財産の構成

(2012年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 82,753	% 1.4
投 資 証 券	5,561,216	93.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	314,615	5.3
投 資 信 託 財 産 総 額	5,958,584	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(5,561,238千円)の投資信託財産総額(5,958,584千円)に対する比率は93.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2012年2月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=79.61円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2012年2月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,958,584,721円
コール・ローン等	314,614,213
投資信託受益証券(評価額)	82,753,543
投資証券(評価額)	5,561,216,535
未 収 利 息	430
(B) 負 債	55,730,820
未 払 解 約 金	19,328,629
未 払 信 託 報 酬	35,545,691
そ の 他 未 払 費 用	856,500
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	5,902,853,901
元 本	5,685,291,585
次 期 繰 越 損 益 金	217,562,316
(D) 受 益 権 総 口 数	5,685,291,585口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,383円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	6,617,452,682円
期中追加設定元本額	289,170,044円
期中一部解約元本額	1,221,331,141円

■損益の状況

当期 (自2011年8月23日 至2012年2月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	104,172円
受 取 利 息	104,172
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	394,738,257
売 買 益	478,862,940
売 買 損	△ 84,124,683
(C) 信 託 報 酬 等	△ 36,646,326
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	358,196,103
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△219,910,296
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	79,276,509
(配 当 等 相 当 額)	(65,569,080)
(売 買 損 益 相 当 額)	(13,707,429)
(G) 合 計 (D+E+F)	217,562,316
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	217,562,316
追 加 信 託 差 損 益 金	79,276,509
(配 当 等 相 当 額)	(65,569,080)
(売 買 損 益 相 当 額)	(13,707,429)
分 配 準 備 積 立 金	370,336,889
繰 越 損 益 金	△232,051,082

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(93,178円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(65,569,080円)および分配準備積立金(370,243,711円)より、分配対象収益は435,905,969円(10,000口当たり766円)ですが、当期に分配した金額はありません。

■当期の分配金

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

<お知らせ>

2012年2月14日付けにて、委託会社、グループ会社である投資顧問会社の商号およびファンド(投資対象ファンドを含みます。)の名称の変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	Eastspring Investments India Consumer Equity Open Limited (イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド)	
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	インドの消費関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドの消費関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	投資顧問会社	ICICIAM
	管理会社	ドイチュ・インターナショナル・トラスト・コーポレーション (モーリシャス) リミテッド
手数料等	申込手数料	ありません。
	運用報酬および管理報酬等	年率0.60% (上限)
		このほか、有価証券売買時の売買委託手数料等はファンドが負担します。
設立日	2008年5月6日	
決算日	毎年8月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) ※	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
手数料等	申込手数料	ありません。
	信託報酬	年率0.21% (税抜0.2%)
		このほか、監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等はファンドが負担します。
信託設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※ バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」が主要投資対象とする「PCAインディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

※「PCAインディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」は、2012年2月14日付けで、「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」にファンド名を変更いたしました。以下の運用状況は、直近の決算日（2011年8月31日）現在のファンド名で記載しております。

● PCAインディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド

包括利益計算書

2010年9月1日から2011年8月31日までの期間

2010年9月1日から
2011年8月31日まで
の期間

米ドル

収入

受取配当金	1,356,551
	1,356,551

費用

運用報酬	97,332
投資顧問報酬	291,996
保管銀行費用	39,947
管理手数料	44,465
計算事務費用	19,466
その他費用	17,990
決済費用	2,420
売買委託手数料	207,762
監査報酬	35,000
	756,378

金融派生商品に係る実現利益	88,661
金融派生商品に係る未実現利益（損失）	50,908

投資資産の売却に係る実現純利益	15,395,733
投資資産の再評価に係る未実現純利益（損失）	(10,350,940)

外国為替に係る純損失	(40,809)
------------	----------

運用による純資産の税引前増減額	5,743,726
-----------------	-----------

税金	(37,644)
運用による純資産の増減額	5,706,082

組入株式明細表 (2011年8月31日現在)

銘 柄	株 数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
Asian Paints Limited	10,959	292,105	782,542	1.03
Axis Bank Limited	44,600	667,694	1,039,672	1.36
Bajaj Auto Limited	102,543	955,205	3,506,303	4.60
Bajaj Corp Limited	220,080	671,480	570,298	0.75
Bank of Baroda	95,228	820,452	1,523,640	2.00
Bharti Airtel Limited	838,013	7,580,875	7,368,738	9.66
Blue Star Limited	39,397	310,652	212,100	0.28
Britannia Industries Ltd	75,000	800,662	797,035	1.05
Dabur India Ltd	250,000	536,182	601,654	0.79
Dish TV India Ltd	400,000	528,161	686,238	0.90
Hathway Cable And Datacom Ltd	115,056	432,820	220,891	0.29
Havells India Ltd	34,688	249,263	252,553	0.33
HDFC Bank	508,962	3,958,380	5,219,684	6.85
Hindustan Unilever Limited	472,243	2,585,222	3,287,917	4.31
Housing Development Finance Corporation Ltd	177,532	2,022,072	2,556,370	3.35
ICICI Bank Limited	158,418	2,870,326	3,006,117	3.94
IDEA Cellular Limited	975,000	1,629,572	2,117,631	2.78
Indian Hotels Company Ltd	100,000	172,830	156,674	0.21
ITC Ltd	3,085,729	7,823,918	13,410,674	17.59
Jagran Prakashan Limited	400,000	1,074,531	952,650	1.25
Kotak Mahindra Bank Limited	127,804	640,081	1,229,467	1.61
Mahindra & Mahindra Limited	242,637	2,059,225	3,891,925	5.10
Mahindra Lifespace Developers Ltd	100,000	818,584	679,611	0.89
Marico Limited	283,244	367,938	912,469	1.20
Maruti Suzuki India Limited	155,095	2,898,986	3,678,784	4.83
Oberoi Realty Ltd	154,979	787,752	754,706	0.99
Pidilite Industries Limited	483,998	499,964	1,718,535	2.25
Punjab National Bank	74,931	581,896	1,513,551	1.98
Redington India Ltd	545,181	994,636	1,135,522	1.49
State Bank of India	62,363	2,094,160	2,674,810	3.51
Sun TV Network Ltd	105,310	902,464	689,610	0.90
Tata Motors Limited	280,020	2,955,684	2,614,368	3.43
Titan Industries Ltd	206,720	823,994	924,015	1.21
合計		52,407,766	70,686,754	92.71

「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」が組入れている「PCA国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

※「PCA国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」は、2012年2月14日付で、「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」にファンド名を変更いたしました。以下の運用状況は、直近の決算日（2011年2月25日）現在のファンド名で記載しております。

PCA国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 配 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) (ベンチマーク)		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
				期 騰 落	中 率		
5期(2007年2月26日)	円 9,845	円 0	% 1.8	254.990	1.3	% 99.5	百万円 1,485
6期(2008年2月25日)	10,001	90	2.5	261.799	2.7	99.1	2,433
7期(2009年2月25日)	10,139	80	2.2	267.776	2.3	99.2	2,693
8期(2010年2月25日)	10,290	0	1.5	272.646	1.8	99.0	2,812
9期(2011年2月25日)	10,366	0	0.7	274.800	0.8	97.8	3,069

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはPCAアセット・マネジメント株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、PCAアセット・マネジメント株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。(バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスについては、以下同じ。)

■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) (ベンチマーク)		債 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2010年2月25日	円 10,290	% —	272.646	% —	% 99.0
2月末	10,289	△0.0	272.633	0.0	99.0
3月末	10,267	△0.2	272.163	△0.2	98.9
4月末	10,320	0.3	273.533	0.3	97.8
5月末	10,340	0.5	274.088	0.5	99.7
6月末	10,406	1.1	275.694	1.1	99.5
7月末	10,413	1.2	275.904	1.2	99.6
8月末	10,457	1.6	277.025	1.6	98.6
9月末	10,475	1.8	277.463	1.8	98.5
10月末	10,470	1.7	277.335	1.7	98.5
11月末	10,382	0.9	275.185	0.9	98.3
12月末	10,418	1.2	276.012	1.2	99.6
2011年1月末	10,389	1.0	275.343	1.0	99.6
(期 末) 2011年2月25日	円 10,366	% 0.7	274.800	% 0.8	% 97.8

(注) 騰落率は期首比です。

■ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	22円 (14) (2) (6)
(b) 保 管 費 用 等	1
合 計	23

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含みま
す。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、
下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等＝ $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況（2010年2月26日から2011年2月25日まで） 公社債

		買 付 額	売 付 額
国内	国 債 証 券	千円 566,130	千円 336,918

(注1) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■ 当期中の主要な売買銘柄（2010年2月26日から2011年2月25日まで） 公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第302回 利付国債（10年）	124,819	第229回 利付国債（10年）	160,821
第311回 利付国債（10年）	64,866	第67回 利付国債（5年）	122,281
第308回 利付国債（10年）	56,037	第238回 利付国債（10年）	50,661
第44回 利付国債（20年）	55,931	第277回 利付国債（10年）	3,155
第45回 利付国債（20年）	55,440		
第306回 利付国債（10年）	50,392		
第307回 利付国債（10年）	35,439		
第246回 利付国債（10年）	35,415		
第303回 利付国債（10年）	30,571		
第301回 利付国債（10年）	25,753		

(注1) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

■ 利害関係人との取引状況（2010年2月26日から2011年2月25日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2010年2月26日から2011年2月25日まで）

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■組入資産の明細

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

(2011年2月25日現在)

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,909,000	3,001,258	97.8	—	56.7	23.8	17.2
合 計	2,909,000	3,001,258	97.8	—	56.7	23.8	17.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

(2011年2月25日現在)

種 類	銘	柄	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
			%	千円	千円	
国債証券	第67回	利付国債（5年）	1.3	100,000	101,695	2012/ 9/20
	第70回	利付国債（5年）	0.8	143,000	144,647	2013/ 3/20
	第229回	利付国債（10年）	1.4	230,000	230,151	2011/ 3/21
	第238回	利付国債（10年）	1.4	160,000	162,052	2012/ 3/20
	第246回	利付国債（10年）	0.8	35,000	35,364	2012/12/20
	第254回	利付国債（10年）	1.4	220,000	226,188	2013/ 9/20
	第257回	利付国債（10年）	1.3	200,000	205,472	2013/12/20
	第258回	利付国債（10年）	1.3	100,000	102,881	2014/ 3/20
	第274回	利付国債（10年）	1.5	50,000	52,259	2015/12/20
	第277回	利付国債（10年）	1.6	92,000	96,721	2016/ 3/20
	第280回	利付国債（10年）	1.9	255,000	272,311	2016/ 6/20
	第284回	利付国債（10年）	1.7	100,000	105,901	2016/12/20
	第285回	利付国債（10年）	1.7	80,000	84,740	2017/ 3/20
	第288回	利付国債（10年）	1.7	100,000	105,901	2017/ 9/20
	第295回	利付国債（10年）	1.5	30,000	31,286	2018/ 6/20
	第298回	利付国債（10年）	1.3	100,000	102,393	2018/12/20
	第299回	利付国債（10年）	1.3	50,000	51,098	2019/ 3/20
	第300回	利付国債（10年）	1.5	130,000	134,841	2019/ 3/20
	第301回	利付国債（10年）	1.5	25,000	25,888	2019/ 6/20
	第302回	利付国債（10年）	1.4	120,000	123,300	2019/ 6/20
	第303回	利付国債（10年）	1.4	30,000	30,763	2019/ 9/20
	第304回	利付国債（10年）	1.3	100,000	101,722	2019/ 9/20
	第305回	利付国債（10年）	1.3	7,000	7,103	2019/12/20
	第306回	利付国債（10年）	1.4	50,000	51,045	2020/ 3/20
	第307回	利付国債（10年）	1.3	35,000	35,430	2020/ 3/20
	第308回	利付国債（10年）	1.3	55,000	55,552	2020/ 6/20
	第310回	利付国債（10年）	1.0	25,000	24,508	2020/ 9/20
	第311回	利付国債（10年）	0.8	67,000	64,481	2020/ 9/20
	第41回	利付国債（20年）	1.5	120,000	124,468	2019/ 3/20
	第44回	利付国債（20年）	2.5	50,000	55,738	2020/ 3/20
	第45回	利付国債（20年）	2.4	50,000	55,349	2020/ 3/20
合 計				2,909,000	3,001,258	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

■有価証券の貸付および借入の状況

該当事項はありません。

■投資信託財産の構成

(2011年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	3,001,258	97.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	72,256	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	3,073,514	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年2月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,073,514,692円
コール・ローン等	54,538,626
公社債(評価額)	3,001,258,660
未 収 入 金	3,155,070
未 収 利 息	13,405,363
前 払 費 用	1,156,973
(B) 負 債	4,469,437
未 払 解 約 金	999,999
未 払 信 託 報 酬	3,154,438
その他未払費用	315,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,069,045,255
元 本	2,960,813,939
次 期 繰 越 損 益 金	108,231,316
(D) 受 益 権 総 口 数	2,960,813,939口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,366円

<注記事項>
(貸借対照表関係)

期首元本額 2,733,433,136円
期中追加設定元本額 352,354,548円
期中一部解約元本額 124,973,745円

■損益の状況

当期(自2010年2月26日 至2011年2月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	39,460,397円
受 取 利 息	39,460,397
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 14,042,156
売 買 益	6,428,079
売 買 損	△ 20,470,235
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,458,723
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	18,959,518
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	121,775,968
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 32,504,170
(配当等相当額)	(97,261,578)
(売買損益相当額)	(△129,765,748)
(G) 合 計 (D + E + F)	108,231,316
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	108,231,316
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 32,504,170
(配当等相当額)	(97,261,578)
(売買損益相当額)	(△129,765,748)
分 配 準 備 積 立 金	154,777,642
繰 越 損 益 金	△ 14,042,156

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。